

## 授業評価アンケートの結果考察

大野 隆司<sup>\*1</sup>

On the results of the lesson evaluation questionnaire

OHNO Takashi<sup>\*1</sup>

The lesson evaluation questionnaire by students was executed 5 times from the latter term of 2000 until the latter term of 2002. This paper shows the totaling and the tendency of the results by some categories: a day of the week, a time of the day, a department, and the others. Next, it points out that the lesson evaluation has the clear correlation with the number of registered students and their success rate. At the end, it proposes the class improvement plan about decrease in the number of registered students.

### 1. はじめに

我が国における学生による大学授業の評価、あるいはアンケートの起源について、確たる情報はないが、慶応義塾大学が湘南キャンパス開設を契機に実施した(1990年)のがマスコミなどで大きくとりあげられ<sup>1)</sup>話題となったことが普及の大きな弾みとなったと認識している<sup>注1)</sup>。それから多くの大学で採用されるようになり、2001年現在で全国513校76.5%の大学で実施されているという<sup>2)</sup>。

授業評価にせよ、授業アンケートにせよ、その主たる目的は授業の改善であろう。その結果は授業担当者に貴重なデータを提供するものであるが、改善は個人にのみ委ねるべきものではないし、その結果に何らかの構造的傾向があるならば、その解決も重要と思われる。

本学でも授業アンケートは相当以前<sup>注2)</sup>から実施されており、何度かの試行の後、授業評価アンケートの名前で現在の設問形式となったのは2000年後期実施分からである。ここでは2002年後期まで5回の授業評価の結果について、科目単位(設問間の

相関性などアンケート個票を対象とすべきものもあるが、ここでは学内公表データに限っている)に構造的傾向を明らかにしようとするものである。

本学アンケートの設問内容(教員独自設定分については省略)とその全科目・過去5回分(以下、通算という)の平均・標準偏差と平均の変遷を表1.1に示す(講義と実験・実習科目とで設問1・3・5・6・9は多少、内容が異なるがここでは無視している)。変遷において各設問別に最も高い数値には下線をつけ、最も低い数値はイタリック体で表しているが、これによれば一応、評価は上昇傾向にあり、授業は改善されつつあるようにみえる。

表1.2は、アンケート結果の公表に際して併記される数値データの全科目・通算の平均・標準偏差である(合格者数を履修者数で除した合格率および回答者数を履修者数で除した回収率は併記されないことが多く、以後の分析でも使っていない)。履修者数と受験者数とが大きく乖離していることはともかく、回収率が低いのはこの種のアンケートとして、いささか問題と指摘しておく。

この他、公表時に併記されるデータのうち以下の

<sup>\*1</sup> 東京工芸大学工学部建築学科教授  
2003年9月4日 受理

表1.1 授業評価アンケート結果、各設問の平均・標準偏差(通算)および各期毎の平均(変遷)

設問:講義科目用 (実験・実習科目用とは2・4・7・8・10を除き、多少、内容が異なる、下記参照)	平均 (通算)	標準偏差 (通算)	2002年 後期平均	2002年 前期平均	2001年 後期平均	2001年 前期平均	2000年 後期平均
授業への取り組み							
設問1. わたしはこの授業によく出席した	4.09	0.41	4.13	4.11	4.05	4.01	4.19
設問2. わたしはこの授業にまじめに取り組んだ	3.83	0.38	3.88	3.87	3.84	3.81	3.69
設問3. わたしは授業時間以外にもこの科目について勉強した	3.13	0.54	3.22	3.21	3.17	3.11	2.79
授業評価							
設問4. 教員の話し方、声は聞き取りやすかった	3.79	0.48	3.88	3.77	3.79	3.73	3.75
設問5. 授業はわかりやすかった	3.50	0.54	3.60	3.45	3.52	3.45	3.44
設問6. 授業時間中は静かで授業に集中できる雰囲気だった	3.72	0.50	3.84	3.73	3.72	3.62	3.69
設問7. テキスト、配布資料などは満足のいくものだった	3.51	0.47	3.61	3.46	3.55	3.46	3.39
設問8. 教員はこの授業に熱心に取り組んでいた	3.96	0.38	4.05	3.96	3.96	3.90	3.91
設問9. 教員は成績評価の方法や基準を適切に説明した	3.65	0.48	3.75	3.61	3.66	3.60	3.57
総合評価							
設問10. この授業は総合的に評価してよい授業だった	3.72	0.48	3.81	3.69	3.74	3.66	3.66
サンプル数	1302		297	278	284	293	150

(設問:実験・実習科目用)

設問1. わたしは十分に予習してこの授業に臨んだ
設問3. わたしはレポート作成にまじめに取り組んだ
設問5. 実験・実習の手順・方法についての説明は明快だった
設問6. 実験・実習中の質問・疑問等に教員は適切に対応した
設問9. 実験・実習の設備・機材・用具は適切に用意されていた

表1.2 数量データの平均・標準偏差(通算)

	平均 (通算)	標準偏差 (通算)
受験者数(A)	82.8	49.1
合格者数(B)	64.8	40.5
合格率(B/A)	80.0%	17.5%
履修者数	101.0	59.0
回答者数	51.7	28.4
平均出席者数	65.4	36.3
合格率(B/履)	66.7%	20.0%
回収率(回/履)	56.1%	24.7%

表1.3 分類データ

学科	
曜日	
時間	
区分	選択、必修
科目(群)	基礎・教養A～F

表1.4 その他データ

履修CD	優 計
科目名	良 計
クラス	可 計
教員名	不可計
出欠確認(×)	放棄 計

総計は履修者数と同

表2.1 数値データ間の相関(通算)

	受験者 数(A)	合格者 数(B)	合格率 (B/A)	履修者 数	回答者 数
合格者数 (B)	0.919	1.000			
合格率 (B/A)	-0.163	0.185	1.000		
履修者数	0.952	0.837	-0.262	1.000	
回答者数	0.693	0.656	-0.065	0.633	1.000

表2.2 項目間の相関(通算)と設問10との相関係数の変遷

	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	受験者 数(A)	合格者 数(B)	合格率 (B/A)	履修者 数	回答者 数	
通算	設問1	1.000								0.009	0.005	0.027	-0.007	0.145	
	設問2	0.209	1.000							-0.286	-0.158	0.354	-0.350	-0.092	
	設問3	-0.047	0.636	1.000						-0.150	-0.044	0.297	-0.210	0.005	
	設問4	0.112	0.520	0.240	1.000					-0.247	-0.187	0.225	-0.250	-0.134	
	設問5	0.058	0.603	0.349	0.856	1.000				-0.284	-0.180	0.350	-0.329	-0.137	
	設問6	-0.034	0.505	0.256	0.648	0.618	1.000			-0.433	-0.372	0.159	-0.400	-0.398	
	設問7	0.019	0.473	0.320	0.646	0.739	0.541	1.000		-0.266	-0.155	0.326	-0.295	-0.198	
	設問8	0.165	0.472	0.204	0.839	0.773	0.619	0.703	1.000		-0.229	-0.159	0.242	-0.239	-0.125
	設問9	0.129	0.568	0.449	0.654	0.725	0.514	0.660	0.681	1.000	-0.245	-0.146	0.327	-0.287	-0.130
	設問10	0.102	0.638	0.355	0.856	0.922	0.672	0.772	0.844	0.776	-0.299	-0.190	0.347	-0.333	-0.164
変遷 (設問 10との 相関係 数)	2002年後期	0.174	0.662	0.298	0.850	0.932	0.733	0.781	0.858	0.790	-0.289	-0.156	0.489	-0.361	-0.240
	2002年前期	-0.012	0.620	0.416	0.880	0.910	0.601	0.726	0.823	0.744	-0.293	-0.192	0.330	-0.342	-0.180
	2001年後期	0.200	0.690	0.445	0.842	0.920	0.719	0.769	0.846	0.784	-0.403	-0.277	0.386	-0.432	-0.332
	2001年前期	-0.029	0.587	0.267	0.851	0.931	0.684	0.806	0.836	0.760	-0.288	-0.217	0.245	-0.319	-0.223
2001年後期	0.345	0.672	0.358	0.854	0.909	0.550	0.709	0.868	0.815	-0.161	-0.035	0.262	-0.176	0.004	

分析に際し分類データとして使用するものを表 1 . 3 に示す。ここで(群)とは基礎・教養における人間科学、基礎専門などのグループ分けをいう。併記されるデータとしてはこの他に表 1 . 4 に示すものなど(表 1 . 1 の 単位の合計も)がある。

## 2 . データ間の相関

表 1 . 1 および表 1 . 2 で示した評価および数値データについて相関行列を表 2 . 1、表 2 . 2 に示す。前者から履修者数と受験者数、合格者数は相互に高い相関性を示すが、回答者数は多少、低いこと、合格率の相関性は総じて低いが回答者数以外、統計上は有意水準 1 % で正あるいは負の相関があること。後者から設問 1 と設問 5・6・7 を除き、統計上は有意水準 1 % で正の相関があること、特に総合評価である設問 10 は設問 5・4・8、さらには設問 7・9 などと極めて高い相関性を示すこと。また、表 2 . 2 では設問 10 と設問 1 ~ 9 および数値データとの相関係数について各期毎の変遷をあわせて示しているが、相関の傾向は各期毎の変遷でも余り変わらないこと。数値データのうちでは履修者数が各設問と概ね最も高い負の相関を、合格率が比較的高い正の相関を示し、設問 10 との関係も変遷を通じてほとんど変わらないこと。等々が読みとれる。

さて、以上包括的にみたアンケート結果について授業担当教員以外の各種構造的要因、すなわち曜日や時限、区分、学科、...との関係について調べる。

## 3 . 分類データとの関係

### 3 . 1 . 曜日別

表 3 . 1 は月 ~ 土の曜日別に各設問に対する公表結果の通算の平均と標準偏差を、そして総合評価である設問 10 については各期毎の平均と標準偏差、さらに表 2 . 2 などで比較的顕著な傾向を示した合格率・履修者数を取りあげ、その平均と標準偏差(通算)を示したものである。各項について曜日別に最も高い数値には下線をつけ、最も低い数値はイタリック体で表示する(以下、表 4 . 2 まで同様)。

その結果、平均値で差が比較的顕著なのは設問 6 で、次いで設問 7、設問 10、設問 5 となるが、他は僅かで設問 1 や設問 3 など統計的に(1%有意水準で)はほとんど差が認められない。差があるものに

ついては土曜日が高く、月曜や火曜日が低い。この土曜日と火曜日が顕著の傾向を示すのは合格率や履修者数、さらには設問 10 の各期毎の変遷でも同じである。

### 3 . 2 . 時限別

表 3 . 2 は 1 ~ 5 の時限別に表 3 . 1 に準じて集計したものである。その結果、平均値に差が多少あるのは設問 4 で、次いで設問 5、設問 10 となり、他の設問では差は僅かで設問 1 や設問 2 など統計的にはほとんど差が認められない。数値的に高いのは 5 時限で低いのはバラツキはあるものの 3 時限で、これは設問 10 の各期毎とほぼ共通である。また、合格率や履修者数は 1 時限と 4・5 時限が最大・最小を示す。

### 3 . 3 . 区分

表 3 . 3 は選択、選択必修、必修の区分別に表 3 . 1 に準じて集計したものである。平均値で多少、差があるのは設問 9 で、次いで設問 1 となる。他の設問の差は極めて僅かで設問 10 も統計的に差がほとんど認められないという結果になった。数値的には選択必修が概ね高く、選択が低いが、これは合格率や履修者数、さらには設問 10 の各期毎の変遷とも同傾向である。

### 3 . 4 . 学科別

表 3 . 4 は基礎・教養、光工学科、...、電子情報工学科の学科別に表 3 . 1 に準じて集計したものである。その結果、平均値で差が比較的顕著なのは設問 9 で、次いで設問 3、設問 5 となり、設問 10 はかろうじて統計的に差が認められる程度である。多くの設問で最も高い値を示すのは基礎・教養であるが、最も低い値を示す学科はばらついている。このことは設問 10 の各期毎の変遷でも同様である。また、合格率や履修者数は基礎・教養と電子情報工学科が最大・最小を示す。

### 3 . 5 . 基礎・教養(群)別

3 . 4 . からアンケート結果は学科によって多少は差がありそうだが、これは学科の科目内容・構成と関係がある可能性がある。各学科の科目内容について仕分けるのは困難であり、ここで

表3.1 曜日別：設問データと合格率・履修者数の平均・標準偏差(通算)および設問10の平均・標準偏差(変遷)

曜日	科目数	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	2002年 後期 平均	2002年 前期 平均	2001年 後期 平均	2001年 前期 平均	2000年 後期 平均	合格率 (B/A)平均	履修者 数 平均
月	267	4.12 0.41	3.76 0.33	3.06 0.45	3.68 0.48	3.40 0.51	3.59 0.50	3.41 0.45	3.87 0.39	3.55 0.43	3.61 0.46	3.73 0.46	3.62 0.46	3.60 0.37	3.50 0.44	3.61 0.48	79.7%	95.6 48.7
火	331	4.06 0.45	3.77 0.36	3.11 0.50	3.69 0.51	3.35 0.56	3.65 0.50	3.41 0.44	3.87 0.38	3.59 0.47	3.60 0.48	3.68 0.48	3.54 0.49	3.60 0.44	3.59 0.47	3.57 0.53	77.9%	115.9 73.7
水	173	4.06 0.37	3.87 0.38	3.17 0.57	3.94 0.42	3.66 0.49	3.89 0.44	3.59 0.42	4.08 0.35	3.74 0.48	3.87 0.44	3.97 0.48	3.82 0.40	3.86 0.40	3.87 0.47	3.78 0.40	80.3%	96.3 53.7
木	220	4.13 0.38	3.87 0.40	3.18 0.59	3.89 0.45	3.62 0.54	3.78 0.47	3.66 0.49	4.06 0.35	3.76 0.49	3.83 0.48	3.86 0.52	3.80 0.50	3.87 0.50	3.76 0.43	3.83 0.32	81.2%	99.1 53.9
金	264	4.07 0.42	3.89 0.37	3.19 0.58	3.85 0.42	3.59 0.50	3.77 0.48	3.54 0.47	3.99 0.34	3.67 0.49	3.78 0.44	3.87 0.48	3.77 0.39	3.80 0.46	3.74 0.42	3.65 0.43	80.5%	94.3 46.2
土	36	4.00 0.40	4.04 0.45	3.15 0.74	3.86 0.52	3.61 0.54	4.07 0.41	3.79 0.47	4.15 0.42	3.66 0.50	3.93 0.45	3.77 0.40	4.23 0.41	3.90 0.41	3.59 0.42		89.7%	55.2 45.1

表3.2 時限別：設問データと合格率・履修者数の平均・標準偏差(通算)および設問10の平均・標準偏差(変遷)

時限	科目数	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	2002年 後期 平均	2002年 前期 平均	2001年 後期 平均	2001年 前期 平均	2000年 後期 平均	合格率 (B/A)平均	履修者 数 平均
1	266	4.01 0.35	3.78 0.35	3.01 0.54	3.83 0.46	3.51 0.53	3.90 0.41	3.50 0.48	3.98 0.34	3.64 0.47	3.74 0.44	3.80 0.46	3.71 0.48	3.74 0.34	3.67 0.46	3.60 0.40	81.2%	112.4 66.2
2	399	4.13 0.35	3.77 0.34	3.09 0.51	3.76 0.44	3.46 0.49	3.64 0.49	3.49 0.45	3.96 0.35	3.61 0.44	3.68 0.45	3.75 0.48	3.71 0.40	3.67 0.46	3.63 0.43	3.58 0.43	78.1%	98.9 46.0
3	333	4.05 0.46	3.85 0.38	3.22 0.58	3.77 0.48	3.45 0.54	3.66 0.49	3.49 0.45	3.89 0.38	3.60 0.46	3.66 0.48	3.73 0.46	3.60 0.50	3.74 0.46	3.67 0.40	3.60 0.56	80.8%	100.3 60.8
4	228	4.14 0.46	3.93 0.41	3.19 0.51	3.82 0.52	3.54 0.58	3.70 0.48	3.54 0.48	3.99 0.41	3.71 0.52	3.77 0.51	3.90 0.52	3.68 0.51	3.73 0.49	3.71 0.52	3.84 0.42	85.5%	98.8 62.5
5	73	4.15 0.47	3.97 0.39	3.25 0.53	4.08 0.44	3.80 0.59	3.90 0.55	3.70 0.56	4.14 0.44	3.90 0.49	4.00 0.51	4.04 0.58	3.98 0.43	3.99 0.52	3.97 0.48	3.54 0.44	84.4%	78.3 62.9

表3.3 区分別：設問データと合格率・履修者数の平均・標準偏差(通算)および設問10の平均・標準偏差(変遷)

区分	科目数	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	2002年 後期 平均	2002年 前期 平均	2001年 後期 平均	2001年 前期 平均	2000年 後期 平均	合格率 (B/A)平均	履修者 数 平均
選択	876	4.09 0.41	3.79 0.39	3.05 0.53	3.78 0.48	3.45 0.55	3.71 0.53	3.50 0.48	3.96 0.38	3.60 0.47	3.70 0.48	3.80 0.49	3.65 0.50	3.70 0.46	3.66 0.44	3.64 0.46	76.6%	112.1 62.2
選択必修	49	3.80 0.49	4.02 0.21	3.34 0.52	3.88 0.32	3.72 0.36	3.96 0.34	3.66 0.38	3.87 0.36	3.78 0.46	3.87 0.35	3.89 0.51	3.76 0.26	3.93 0.30	3.86 0.36	3.90 0.17	94.5%	47.2 27.1
必修	377	4.13 0.40	3.91 0.33	3.29 0.52	3.81 0.47	3.58 0.53	3.72 0.43	3.52 0.44	3.97 0.37	3.75 0.46	3.75 0.48	3.82 0.48	3.77 0.42	3.79 0.45	3.64 0.53	3.70 0.49	86.1%	82.3 43.9

表3.4 学科別：設問データと合格率・履修者数の平均・標準偏差(通算)および設問10の平均・標準偏差(変遷)

学科	科目数	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	2002年 後期 平均	2002年 前期 平均	2001年 後期 平均	2001年 前期 平均	2000年 後期 平均	合格率 (B/A)平均	履修者 数 平均
基礎・教養	571	4.17 0.36	3.91 0.37	3.18 0.53	3.88 0.50	3.64 0.58	3.77 0.49	3.58 0.48	4.02 0.41	3.79 0.48	3.81 0.48	3.92 0.57	3.78 0.54	3.82 0.49	3.75 0.52	3.76 0.52	84.1%	90.3 71.3
光工学科	151	4.04 0.40	3.77 0.40	3.10 0.51	3.74 0.41	3.42 0.44	3.69 0.54	3.50 0.44	3.91 0.32	3.55 0.43	3.67 0.40	3.74 0.37	3.65 0.44	3.64 0.40	3.62 0.34	3.65 0.45	76.5%	107.2 38.0
画像工学科	161	3.97 0.45	3.69 0.37	2.92 0.51	3.67 0.45	3.35 0.46	3.61 0.54	3.46 0.48	3.88 0.32	3.50 0.44	3.63 0.38	3.68 0.38	3.65 0.36	3.62 0.39	3.63 0.35	3.60 0.44	80.0%	102.9 43.6
応用化学科	136	4.19 0.31	3.80 0.30	3.19 0.46	3.62 0.48	3.34 0.48	3.64 0.42	3.35 0.39	3.92 0.35	3.57 0.38	3.60 0.40	3.77 0.43	3.60 0.36	3.77 0.35	3.49 0.37	3.63 0.39	75.8%	102.0 37.6
建築学科	120	3.98 0.50	3.85 0.35	3.25 0.67	3.77 0.45	3.46 0.54	3.83 0.46	3.63 0.48	4.00 0.34	3.69 0.43	3.75 0.44	3.81 0.37	3.79 0.43	3.77 0.35	3.72 0.38	3.58 0.47	82.2%	114.8 45.9
電子情報工学科	163	3.99 0.46	3.76 0.37	3.09 0.56	3.75 0.40	3.36 0.46	3.69 0.49	3.37 0.44	3.88 0.36	3.39 0.44	3.60 0.41	3.57 0.35	3.58 0.39	3.73 0.52	3.56 0.39	3.56 0.30	70.8%	121.4 54.7

参考(設問:内容再掲)

講義科目用	実験・実習科目用
設問1. わたしはこの授業によく出席した	設問1. わたしは十分に予習してこの授業に臨んだ
設問2. わたしはこの授業にまじめに取り組んだ	設問2. 同左
設問3. わたしは授業時間以外にもこの科目について勉強した	設問3. わたしはレポート作成にまじめに取り組んだ
設問4. 教員の話し方、声は聞き取りやすかった	設問4. 同左
設問5. 授業はわかりやすかった	設問5. 実験・実習の手順・方法についての説明は明快だった
設問6. 授業時間中は静かで授業に集中できる雰囲気だった	設問6. 実験・実習中の質問・疑問等に教員は適切に対応した
設問7. テキスト、配布資料などは満足のものだった	設問7. 同左
設問8. 教員はこの授業に熱心に取り組んでいた	設問8. 同左
設問9. 教員は成績評価の方法や基準を適切に説明した	設問9. 実験・実習の設備・機材・用具は適切に用意されていた
設問10. この授業は総合的に評価してよい授業だった	設問10. 同左

は公表時に科目が A～F とグループ表示される基礎・教養についてのみ考える。

表 3.5 は基礎・教養の人間科学、基礎専門、…、教職課程の科目(群)別に表 3.1 に準じて集計したものである。その結果、いずれの設問においても科目(群)間の平均値の差は大きく、設問 5、次いで設問 3、設問 10 となり、最も差の小さい設問 1 でも、これまで述べたどれよりも差は大きい。この傾向は設問 10 の各期毎の平均値でも同様である。ほとんどの設問で高い値を示すのは保健体育科目で、逆に低いのは基礎専門科目である(単純に比較することはできないが、多くの設問で前者は表 3.4 の学科別における最も高い学科より高く、後者は最も低い学科より低い)。保健体育科目と基礎専門科目との関係は合格率については最大・最小となるが、履修者数では外国語科目と人間科学科目が最大・最小の関係となる。

## 4. 数値データとの関係

### 4.1. 合格率別

次に、アンケート結果についてその他の構造的要因である数値データのうち、3 と同様、合格率(図 4.1)と履修者数(図 4.2)をとりあげ調べる。

表 4.1 は合格率を表 1.2 の平均と標準偏差を参考に 6 つに分け(合格率 100% に近い科目が多く、閾値としてラウンド・ナンバー 95% を選んだ関係から少し偏りがある)それぞれについて各設問の平均と標準偏差(通算)および設問 10 の各期毎の平均と標準偏差(変遷)を示したものである。結果は設問 5、次いで設問 10、設問 7、設問 3 と、いずれもかなり顕著な差を示し、その他も設問 1 を除いて、比較的、差は大きい。多くの設問で最も高い値を示すのは合格率 95% 以上で、低い値を示すのは 55% 未満と、ある意味で当然の結果となった。すなわち、合格率が高いのはまじめに取り組んだ結果であろうし、そうした結果をもたらした授業に対する評価は高くなる(アンケートは可否発表前であり、“甘い”科目ほどアンケート評価が高いとは考えない)。

### 4.2. 履修者別

表 4.2 は履修者数について、やはり表 1.2 の平均と標準偏差を参考に 6 つに分け、同様に作表し

た結果である。結果は設問 6、次いで設問 5、設問 10、設問 7、設問 9 と、いずれもかなり顕著な差を示し、その他も設問 1 を除いて、差は極めて大きい。設問の多くで最も高い値を示すのは履修者数 40 人未満(39 人以下)で、低い値を示すのは 160 人以上と、これも極めて当然の結果となった。すなわち、履修者が多ければ指導も行き届きにくく、取り組みにも影響し、それはまた授業に対する評価にはねかえる(科目によっては複数教員体制によるものがあるが、助手や TA の係わりなど不明であり、ここでは特に考慮していない)。

表 4.2 を少し詳細にみると 100～129 人と 130～159 人とでは平均値が逆転している設問の多いことがわかる。70～99 人と 100～129 人とでは(差はわずかであるが)逆転現象はない。この差は 70～99 人と 40～69 人、40～69 人と 40 人未満(～39 人)と徐々に顕著になる。これらのことから履修者数 70～100 人程度に「履修者数と評価とが明瞭な関係を示す」分岐点のある可能性が指摘できよう。

## 5. 総括

現在、標準的に用意している設問のうち 授業評価の設問間には高い相関がみられ、これは各期毎でも同傾向である。抽象的であろう総合評価の要因を様々な視点から把握することは重要で、その個別評価が総合評価に影響されることは当然であるが、視点はできるだけ独立で、かつ具体的なものであるべきであろう(他校の例を参考文献下に示す)。

アンケート結果は分類データでは、曜日や学科などとある程度は関係のあることが判ったが、それほど顕著なものではなかった。ただ基礎・教養における科目内容を大雑把に示すと思われる科目(群)では、比較的顕著な傾向がみられた。

数値データのうち合格率と履修者数について平均と標準偏差を参考に分類値を設定してアンケート結果との関係を調べた結果は、いずれも予想通りのものとなった。合格率が高いほどアンケート結果が高いのは、合格率を高める様々な授業対策に裏付けられたものである(単に合格率を高くすればアンケート結果が高くなるわけではない)履修者数についてはどうか？

履修者数の多寡を考慮することで、曜日別や学科別、さらに差は少ないが時限別や科目区分別の結果

表 3.5 基礎・教養群別：設問データと合格率・履修者数の平均・標準偏差(通算)および設問10の平均・標準偏差(変遷)

科目	科目数	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	2002年 後期 平均	2002年 前期 平均	2001年 後期 平均	2001年 前期 平均	2000年 後期 平均	合格率 (B / A) 平均	履修者 数 平均
A + B 人間科学	35	4.17 0.24	3.84 0.40	3.00 0.67	4.10 0.37	3.83 0.44	3.92 0.51	3.59 0.52	4.18 0.33	3.75 0.43	4.01 0.42	4.19 0.52	3.91 0.15	3.91 0.33	3.93 0.37	3.96 0.32	87.9%	157.8
C 基礎専門	178	4.17 0.34	3.78 0.33	3.11 0.42	3.56 0.45	3.26 0.49	3.47 0.46	3.34 0.34	3.78 0.36	3.54 0.42	3.47 0.42	3.47 0.15	3.44 0.43	3.47 0.39	3.42 0.31	3.60 0.55	74.6%	127.5
D 外国語	176	4.26 0.26	3.93 0.31	3.13 0.42	4.07 0.39	3.87 0.47	3.93 0.37	3.72 0.48	4.13 0.35	3.98 0.40	3.99 0.48	4.20 0.37	4.03 0.45	4.01 0.44	3.87 0.57	3.88 0.45	91.0%	43.6
E 保健体育	30	3.63 0.56	4.45 0.27	3.94 0.57	4.41 0.27	4.34 0.28	4.23 0.31	4.06 0.41	4.46 0.29	4.33 0.35	4.39 0.35	4.46 0.34	4.35 0.55	4.36 0.28	4.32 0.37		8.4%	63.3
F 教職課程	16	4.20 0.26	4.11 0.37	3.27 0.70	3.99 0.52	3.67 0.55	4.02 0.39	3.70 0.44	4.26 0.39	3.58 0.43	3.94 0.53	3.70 0.55	4.35 0.81	3.88 0.44	3.96 0.45		88.6%	43.7

表 4.1 合格率別：設問データと履修者数の平均・標準偏差(通算)および設問10の平均・標準偏差(変遷)

合格率 (A / B)	科目数	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	2002年 後期 平均	2002年 前期 平均	2001年 後期 平均	2001年 前期 平均	2000年 後期 平均	履修者 数 平均
55%未満	122	4.05 0.33	3.62 0.36	2.85 0.42	3.59 0.44	3.19 0.45	3.67 0.51	3.26 0.43	3.77 0.35	3.40 0.46	3.43 0.41	3.39 0.39	3.45 0.43	3.37 0.43	3.53 0.39	3.44 0.44	117.9
65%未満	132	4.06 0.36	3.67 0.32	2.98 0.43	3.71 0.41	3.29 0.43	3.60 0.47	3.29 0.36	3.87 0.29	3.44 0.35	3.54 0.33	3.56 0.31	3.56 0.35	3.56 0.31	3.49 0.34	3.54 0.30	125.4
75%未満	176	4.11 0.33	3.70 0.32	2.95 0.43	3.69 0.45	3.33 0.50	3.63 0.51	3.41 0.45	3.91 0.35	3.49 0.44	3.57 0.43	3.54 0.43	3.56 0.50	3.62 0.37	3.54 0.36	3.60 0.46	116.5
85%未満	231	4.13 0.36	3.76 0.34	3.05 0.48	3.75 0.47	3.43 0.51	3.64 0.47	3.45 0.45	3.94 0.34	3.59 0.43	3.67 0.44	3.69 0.47	3.59 0.48	3.74 0.43	3.63 0.41	3.70 0.36	106.3
95%未満	342	4.07 0.46	3.89 0.34	3.27 0.57	3.81 0.48	3.56 0.53	3.71 0.47	3.57 0.44	3.97 0.38	3.73 0.44	3.77 0.47	3.96 0.43	3.74 0.46	3.79 0.44	3.58 0.45	3.69 0.57	100.8
95%以上	294	4.10 0.47	4.03 0.36	3.33 0.58	3.96 0.46	3.79 0.51	3.92 0.49	3.75 0.46	4.11 0.40	3.87 0.49	3.97 0.47	4.11 0.42	3.92 0.43	4.03 0.46	3.90 0.52	3.89 0.44	71.4

表 4.2 履修者数別：設問データと合格率の平均・標準偏差(通算)および設問10の平均・標準偏差(変遷)

履修者数	科目数	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	2002年 後期 平均	2002年 前期 平均	2001年 後期 平均	2001年 前期 平均	2000年 後期 平均	合格率 (A / B)
~ 39	136	3.97 0.57	4.15 0.40	3.42 0.62	4.12 0.52	3.96 0.60	4.21 0.43	3.91 0.52	4.22 0.48	4.05 0.51	4.18 0.51	4.32 0.56	4.00 0.56	4.32 0.40	4.14 0.46	3.85 0.15	90.1%
40 ~ 69	331	4.13 0.41	3.92 0.32	3.20 0.51	3.90 0.43	3.65 0.49	3.85 0.36	3.58 0.43	4.02 0.35	3.75 0.43	3.82 0.45	3.94 0.40	3.81 0.47	3.80 0.40	3.76 0.48	3.88 0.43	85.9%
70 ~ 99	204	4.11 0.37	3.79 0.32	3.12 0.53	3.72 0.51	3.44 0.51	3.75 0.46	3.46 0.46	3.93 0.40	3.59 0.47	3.68 0.46	3.73 0.53	3.66 0.45	3.78 0.35	3.59 0.41	3.62 0.51	77.0%
100 ~ 129	229	4.13 0.36	3.77 0.35	3.08 0.52	3.66 0.41	3.33 0.47	3.57 0.50	3.42 0.43	3.90 0.34	3.53 0.43	3.58 0.40	3.67 0.43	3.55 0.33	3.61 0.37	3.51 0.37	3.52 0.57	77.1%
130 ~ 159	233	4.03 0.39	3.73 0.37	3.06 0.58	3.71 0.41	3.38 0.45	3.57 0.48	3.42 0.42	3.91 0.31	3.52 0.44	3.61 0.38	3.69 0.40	3.59 0.35	3.56 0.38	3.58 0.37	3.57 0.37	75.0%
160以上	164	4.10 0.36	3.63 0.31	2.95 0.38	3.63 0.45	3.26 0.48	3.43 0.49	3.32 0.39	3.83 0.32	3.48 0.38	3.50 0.41	3.63 0.37	3.45 0.46	3.48 0.41	3.42 0.38	3.61 0.37	74.2%

図 4.1 設問10と合格率(B/A)

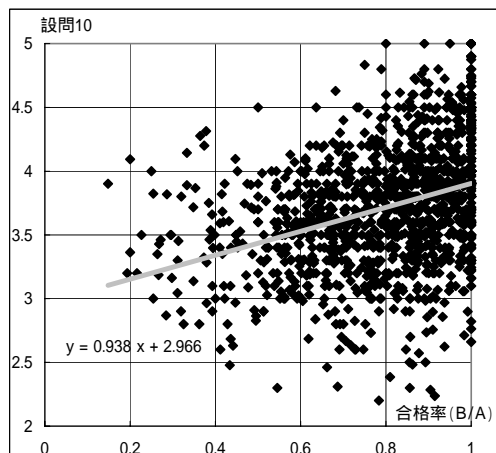
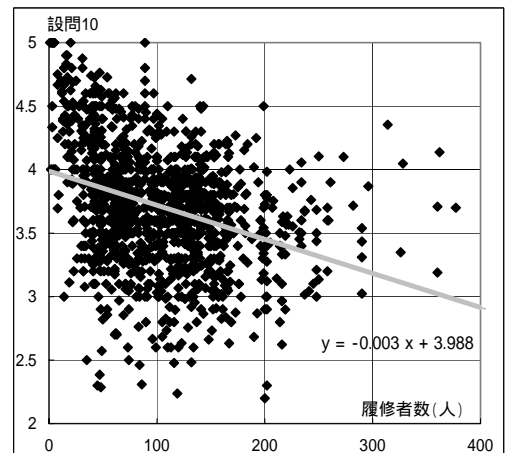


図 4.2 設問10と履修者数



も説明が容易になる(例えば土曜日や5時限の評価結果が高いのは、時間帯だけでなく履修者数が少ない科目が多いことも考慮すべきなど)。無論、基礎・教養における科目(群)において履修者数の多い人間科学科目が比較的高く、履修者数の少ない外国語や教職課程科目が必ずしも高くないことなど、履修者数では説明できない部分も大きいことも事実である。

履修者数が授業評価アンケートと多少なりとも関係するとすれば、履修者数を低減する具体的な方策を考えることになる。一つの方策は履修制限ではないか。1学期・1人あたりの履修コマ数を制限する履修制限は、これまでも学生の自学自習時間に対する配慮から提案されている。表1.2にみるように履修者数と受験者数とは大きな乖離がある。履修者数が受験者数とがほぼ同じになれば約2割減ることになり、平均値上は上記の目安の範囲におさまることになる。ただし、今回改めて認識したことであるが履修者数の極めて少ない授業も結構多いから、これだけでは不十分である。

第二の方策は履修者の多い科目を分割・増設することである(前述の70~100人程度を目安とすれば大雑把にいて1.5倍程度か)。教員数を増やさないとすれば各自の持ちコマ数が増えることになる。教室数の方が問題かもしれない。1学科100+人体制が続いてきた関係上、教室構成もそれにあったものとなっていると思われ、十分な検討が必要となる。ただし、来年度からの学部再編でナノ化学科と建築学科以外は学科定員が変更となるから、教室構成の見直しは必然のテーマともいえる。

なお、授業評価結果について慶応義塾大学では、当該授業分以外に全授業分平均、科目カテゴリー別平均の他、担当者年齢別平均の比較、担当者教授経験年数別平均の比較、専任・兼任別平均の比較、クラスサイズ別平均の比較、自然言語種別平均の比較、体育科目コース別平均の比較、などの検討用資料も担当者に戻されるようであり<sup>1)</sup>、興味深い。

授業評価アンケートは学生、教職員を問わず、全科目では相当の時間と労力を必要とする。本来の目的である授業改善については担当教員レベルだけでなく、授業の背景まで視点を広げた構造的検討も重要と思われるのである。

## 注記

本稿の内容の一部は昨年度の教務委員会で報告している。集計ミスの修正などを含め今回、データは全て見直している。

## 参考文献

- 1) 孫福 弘「事例研究 慶応義塾大学湘南藤沢キャンパス V. 学生による授業評価」カレッジマネジメント60(1993年、リクルート)
- 2) 滝 紀子「大学改革へ学生が授業評価 実施運営面で改善余地」日本経済新聞2003年8月23日夕刊

## 注

- 1) 1991年の大学設置基準の改正にともなう「大学評価システムの導入」なども理由の一つか。
- 2) 全学的に実施されたのは1995年からのようである(教務部「自己点検・評価報告書」)。

参考: 授業(評価)アンケート設問例

(共通設問)

この授業の内容は体系的だった  
この授業で使われたテキスト、配付資料などは有益だった  
この授業では黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった  
抽象的な観念・理念をよく判るように説明された  
話し方が聞き取りやすかった  
授業の内容は興味のあるものだった  
この授業は自分にとって価値があった  
授業担当者は学生の参加を促し学生に十分応答した  
授業担当者は学生に適切に助言を与え相談のってくれた  
授業担当者は授業の際、クラスをよくまとめた  
私はこの授業によく出席した  
私はこの授業に意欲的に取り組んだ  
私はこの授業をほかの学生にも薦めたい

慶応義塾大学:文献1)より

1. この授業におけるあなたの出席状況の自己評価を示して下さい
2. あなたはこの授業を他学部・他学科科目として履修していますか
3. この授業を通じてあなたが次のことを達成できたかどうか伺います(選択肢省略)
4. 授業の内容は分かり易いか  
関心を持てるような授業内容だったか  
先生の話が聞き取り易かったか  
黒板の字やOHPが読み取り易かったか  
授業中に私語がなく集中できたか  
シラバスの内容が自己学習を進めるのに役立ったか  
この授業の内容について自分自身が学習するための方法が説明された  
配付資料や視聴覚教材など情報提示の仕方が工夫されていたか  
教科書、参考文献など適切な教材が指示されたか  
成績評価の基準が明確であったか  
授業中ないし各授業の最後に質問の機会があったか  
最新の情報や研究成果が授業に反映されていたか
5. この授業に対する総合評価を示して下さい

某大学:授業についてのアンケート(講義科目用)